

11月3日

大湫町文化祭



日吉町、釜戸町に続き、この日大湫町の文化祭が開催されました。瑞浪北中の生徒9名がボランティアとして参加しました。大湫町在住の生徒2名、釜戸町在住の生徒1名、土岐町在住の生徒6名でした。大湫地区の生徒の人数の少なさを他地区の生徒がカバーしているのではなく、「大湫町もわがふるさと。ぜひとも貢献したい。」という気持ちの表れだと言えるでしょう。

瑞浪北中生の担った役割は、司会進行、進行補助、湯茶接待、芋煮会の手伝いなどでした。それぞれの持ち場で、積極的に動く生徒の姿を見て、大湫町の方々からお褒めの言葉をたくさんいただきました。

地域の様々な取り組みを進めるのは、どの地区においても高齢者が中心となります。そんな中、北中生のジャージを着た若者が活躍する姿



山本さん（右端）は演奏者として出演しました。

は、人々を喜ばせるだけではなく、その場にいた小学生以下の子どもたちに、これからの若者としてのあるべき姿を示しているようでした。

ボランティアとして参加した一人の2年山本悠太さんは、芸能の部に出演した「集まろう会大湫太鼓」のメンバーの一員として、素晴らしいバチさばきを披露しました。地域の太鼓を

演奏する団体に所属し、練習を積み重ねて演奏を披露したことは、ボランティアとはまた違う意味合いをもっています。

北中からの出品作品にも、大湫町の方々は驚きの声を上げていました。ここでもスクラッチボードに対する注目が集まり、今の中学校の学習が、作品を通して地域の方々に理解していただけたようです。



